

DUNLOP ハンディキャップドライバー日本一決定戦グランドファイナル特別規則書

2017年8月1日公示

第1条 総則

本規則は、日本障害者モータースポーツ協会主催の「DUNLOP ハンディキャップドライバー日本一決定戦グランドファイナル」に関する競技規則であり、本大会は日本障害者モータースポーツ協会統一競技規則、同付則、同車両規則、同付則、本特別規則、各種公示の全てに規定されます。

第2条 日程及び開催場所・参加費

日程：2016年11月19日（日曜日）

場所：筑波サーキットコース1000

参加費：●レーシング会員 19,000円（税込）

●上記会員以外で過去の決定戦参加履歴のある者 22,000円（税込）

第3条 役員

競技長 神谷司

審査委員長 佐藤正樹

第4条 指定ゼッケン・指定ステッカーの添付義務

ゼッケン番号は右ドア付近及びフロントボンネットに各1枚ずつ添付します。

また、ドライバーの障害の部位を表示するステッカーを左右ドアノブ至近の位置に各1枚ずつ添付します。

第5条 フリープラクティス

決勝ヒート前にフリープラクティスを実施します。走行時間は12分×2本です。走行に際してクラス分けは行いません。なお、他の一般走行会枠での重複走行も認めますが、走行の際は、決定戦ゼッケン+走行会ゼッケンの両方を車両に添付してください。

第6条 決勝ヒート競技方法

周回コースを単独で2周し、その周回タイムが走行タイムとなります。決勝ヒートは、第1ヒート、第2ヒートの2回行われ、2回の走行タイムのうち、速いほうの走行タイムが、ドライバーの記録タイムとなります。コース図は別途公式通知にて発表いたします。出走順は第1ヒート・第2ヒート共にゼッケン番号順でスタートします。計時はサーキット付属の計時システムを使用します。

第7条 競技方法の特例

①天候などの理由により第2ヒートが行われなかった場合は、第1ヒートの走行タイムが記録タイムとなります。

②ミスコースが発生した場合、当該ドライバーはそのヒートのみ失格となります。

③著しいコース外走行によって、走行タイム短縮のアドバンテージになったと

競技長が判断した場合については5秒のタイムペナルティを走行タイムに加算します。

- ④ダブルチェッカーについては当該ヒートのみ失格となります。
- ⑤コース上にパイロンを設置します。パイロンタッチは、2、5秒のタイムペナルティです。
- ⑥計時ミスが発生した場合、当該ドライバーの故意や過失に起因する場合は、再出走を認めませんが、その他の理由の場合は、競技長の判断において当該ヒートの最後尾から再出走することを認めます。

第8条 公式結果

各ドライバーの走行タイムに、排気量別タイムハンデ、フィジカルハンデタイムを加算した合計がドライバーの記録タイムとなります。なお、同一の最終記録タイムを複数のドライバーが記録した場合は次の優先順位及び方法によって順位を認定します。

- ①フィジカルハンデタイム加算がより大きい車両が上位。
- ②換算排気量がより小さい車両が上位。
- ③第1ヒートの記録タイム(走行タイム+排気量ハンデ)がより速い車両が上位。

第9条 賞典

出場全ドライバーに対してトロフィーを授与。上位3ドライバーに対して副賞。

第10条 参加不可車両

車高の高いワンボックス車、ミニバン、トラック等は参加できません。

以上